



※航空写真図は平成27年度頃に撮影したものです。現在とは異なります。

入札物件近況写真



物 件 番 号	土地 1－1						
予 定 価 格	－22,720,000円						
所 在 地	大仙市清水字上大蔵126－6 ほか3筆						
土 地 内 訳	所	在	地 番	地 目	地積（㎡）	甲 区	乙 区
	大仙市清水字上大蔵		126－6	宅地	1,615.70		
	大仙市清水字上大蔵		126－30	宅地	13.54		
	大仙市清水字上大蔵		126－31	宅地	13.42		
	大仙市清水字上大蔵		129－15	宅地	213.71		
	地積合計：				1,856.37		
道 路 幅 員 及 接 面 状 況 等	東 側	私有地					
	西 側	市の管理道路（幅員4.5m） ※市道認定無し					
	南 側	市有地（清水小学校敷地）・私有地					
	北 側	私有地					
法 令 に 基 づ く 制 限	区 域 区 分	都市計画区域外					
	用 途 地 域	無し		特別用途地区	無し		
	建 ぺ い 率	無し		容 積 率	無し		
	高 度 地 区	無し		防 火 地 域	無し		
	日 陰 規 制	無し		文化財保護法	無し		
	その他の制限	無し					
私道の負担等に関する事項		負 担 の 有 無		無	負 担 等 の 内 容		
交 通 機 関	電 車	J R 鍵見内駅 約 3.3km					
供 給 処 理 施 設 の 状 況	電 気	東北電力		ガ ス	プロパンガス		
	上 水 道	井戸ポンプ		下 水 道	合併浄化槽		
公 共 施 設	中仙公民館 清水分館	約 0.4km		清 水 小 学 校	約 0.3km		
	道 の 駅 なかせん	約 3.9km		中 仙 中 学 校	約 4.0km		
そ の 他 事 項	上水は、既存井戸ポンプの撤去後、新たに井戸ポンプを設置頂くことになります。						
	浄化槽は、合併浄化槽40人槽が設置されております。解体にあたっては、汚泥等を引き抜き適正に処分願います。また廃止届の提出を願います。						
	汚水の排水については、新たに合併浄化槽の設置が必要となります。						
	地盤、土壌調査等は行っておりません。						
	敷地内にNTT柱1本、東北電力柱の支線1本があります。本件の撤去対象ではありません。						
	敷地内の残存物は現状有姿での引渡しとなります。						
	体育館棟の杭の撤去を願います。						
	敷地内の自転車置き場、宅内排水枡、排水管、雨水枡、外灯、U字溝、花壇用縁石、立木類は全て撤去願います。						

別紙

物件調書
【解体建物の概要】

所在地	大仙市清水字上大蔵126番地16（※旧清水分館の建物住所）			
構造・面積等	施設名称	構造	建築年	延床面積（㎡）
	旧清水分館	木造平家建	昭和39	319.97
	旧コミュニティセンター	木造2階建	昭和50	422.83
	旧コミュニティセンター体育館	鉄骨造平家建	昭和51	349.44
	延床面積合計：			1,092.24
附属建物	【有】 ・井戸用ポンプ置場（木造平家建 3.31㎡） ・自転車置き場（鉄骨造平家建 13.9㎡）			
参考事項	・物件には、土地に現存する物全てを含みます。（建築物、構造物、樹木など）			
	・建物及びその他構造物内の残存物も全て含みます。			
	・本件の建物の建材にアスベスト含有建材が使用されています。詳細は要領6～7ページの「4. アスベスト含有調査」をご確認ください。			
	・解体の参考資料として、市の現地調査による「解体設計図書類」をホームページでご確認ください。			
	・記載の延床面積は、市の管理台帳上の参考面積となります。			

解体建物 外観写真

① 旧清水分館



② 旧コミュニティセンター



③ 旧コミュニティセンター体育館



附属建物：井戸用ポンプ置場

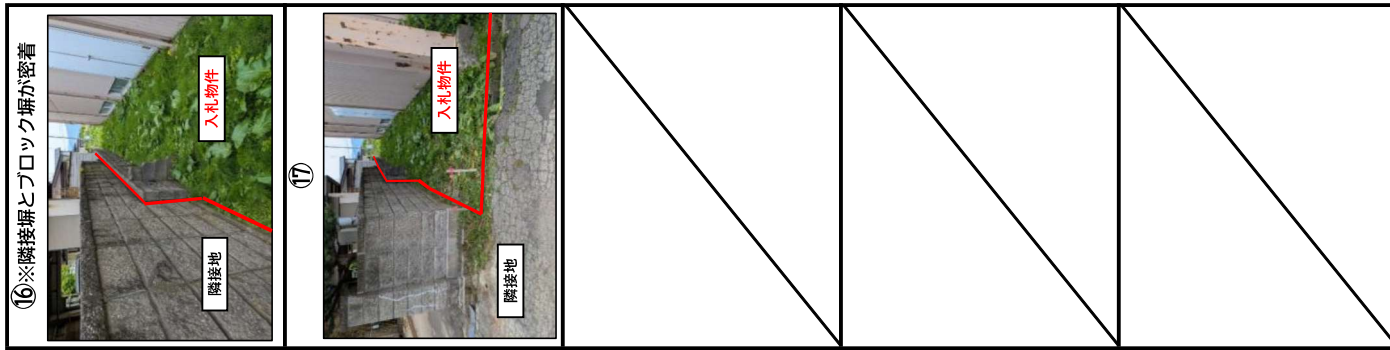
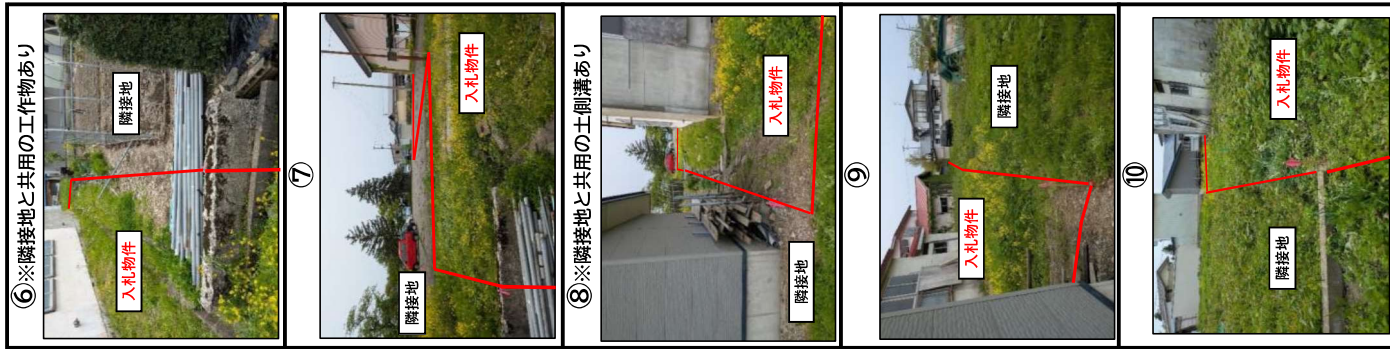
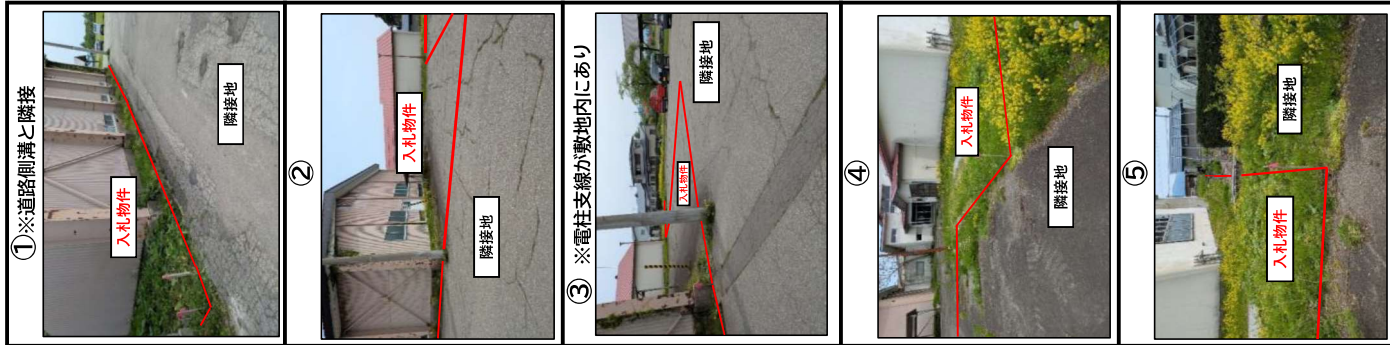


※附属建物：自転車置き場 も③の写真内に有り

※航空写真と境界線の位置が、ズれている可能性があります。
※本資料は位置を証明するものではありません。参考図となります。



※航空写真は平成27年頃撮影



大仙市長 老松 博行 殿

エヌ 株式会社
/ ター

〒020-0122 岩手

試験

貴ご依頼による石綿分析の結果をご報告致します。ただし、本分析の結果は入手した試料の範囲に限定

1. 業務件名及び試料の詳細(採取・分析履歴等)

業務件名	旧清水分館アスベスト建材採取・分析調査業務委託		
建物等の名称	旧清水分館 公民館(大仙市清水字上大蔵126番地16)		
試料名称	1階 ホール2 天井 ジブトーン		
施工年等	昭和39年		
採取年月日	2024年7月2日	試料の大きさ	5cm×5cm 3箇所
採取者所属・氏名	エヌエス環境株式会社 [REDACTED]		
分析日(期間)	2024年7月12日 ～ 2024年7月24日		
分析方法	JIS A 1481-1(定性分析)・アスベスト分析マニュアル(厚生労働省)		
分析者及び資格	[REDACTED] 日本作業環境測定協会 石綿分析技術評価事業 区分5 [REDACTED]		

2. 分析結果

判定	含有	分析結果	クリソタイル検出
----	----	------	----------

3. 層別結果の詳細

試料調整及び前処理：☐ 無し ☒ 灰化 ☒ 酸処理 ☐ 加熱 ☐ 溶媒処理 ☐ 浮遊沈降

[illegible]

使用機器：実体顕微鏡 (株)ニコン SM7745T

非アスベスト繊維：セルロース

備考：

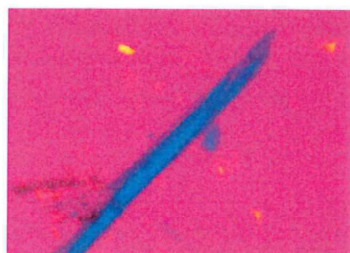
石綿の種類：Chr(クリソタイル)、Amo(アモサイト)、Cro(クロシドライト)、Tre(トレモライト)、Act(アクトノライト)、Ant(アンソファイト)
層外観および層比率、推定含有率は目視での判断となります。「検出」とは、試料中に1〜2本のみ検出されたことを示しています。

4. 偏光顕微鏡による530nmの位相板を挿入したクロスニコルにおける試料の代表観察写真

使用機器：偏光・分散顕微鏡 (株)ニコン ECLIPSE LV100ND (写真倍率：400倍、観察室温：25.1℃)

検出された石綿種：クリソタイル

検出された石綿種：-



浸液の屈折率：

$$^{25^{\circ}\text{C}}n_D = 1.550$$

浸液の屈折率：

$$^{25^{\circ}\text{C}}n_D =$$

検出された石綿種：-

検出された石綿種：-

浸液の屈折率：

$$^{25^{\circ}\text{C}}n_D =$$

浸液の屈折率：

$$^{25^{\circ}\text{C}}n_D =$$

5. X線回折分析法による定量分析結果：実施無し

使用機器：X線回折装置 (株)島津製作所 XRD-6100

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

定量した石綿種：-

No.	M1 (mg)	M2 (mg)	M3 (mg)	As (mg)	r	石綿含有率 (%)	石綿含有率の平均 (%)
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	

M1: 1次分析試料の秤量値 (mg) M2: 定量用2次分析試料の秤量値 (mg) M3: 定量用3次分析試料の秤量値 (mg)

As: 検量線から読み取った分析試料中のアスベスト質量 (mg) r: 試料を灰化処理した場合の減量率